

新都心開発

みなとみらい21

高度経済成長期に活躍した埠頭や造船所によって都市機能が2つに分断されていた横浜エリアにおいて、産業構造の変化により移転したそれらの跡地に、都市機能を一体化・強化する新たな国際複合都市を建設する総面積約186haのウォーターフロント都市開発プロジェクト。

所在地：神奈川県横浜市 地区面積：約186ha

開発に合わせ、鉄道新線を建設するとともに、さまざまなまちづくりのルールを設け、街全体のスカイラインの演出や、光の景観を意識した照明計画などにより街の価値を高めています。UR都市機構は約102haの土地区画整理事業の施行、防災機能強化、権利者調整などを行いました。



Japan
2011年 全建賞(都市部門)
平成9年度都市景観大賞(都市景観100選)



事業エリアの中心にあるグランモール公園



エスカレーターにより地下3階の駅改札と地上の複合施設が直結しています

